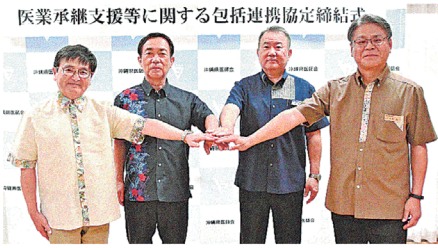




医業の承継支援で協定

県医師会と地銀3行



県医師会と県内地銀3行は20日、医師の高齢化や後継者不足による医院の閉業が相次いでいる問題を受け、医業承継に関する包括連携協定を結んだ。これまでは各行と那覇、中部の医師会などがそれぞれ協定を締結していたが、県医師会と3行が連携することで、各行のノウハウを生かしながら全県的な支援が可能になるという。

県医師会によると那覇市内の過去10年の年平均は新規開業が20施設、閉院が50施設だった。団塊世代の医師たちの高齢化に加え、家族間でも医療分野の専門が異なり、閉院が増えているという。離島や北部も同様に地域医療を支える診療所の存続が危ぶまれている。

協定では県医師会が医業承継の包括連携協定を結んだ（左から）県医師会の田名毅会長、沖縄銀行の山城正保頭取、沖縄海邦銀行の新城一史頭取、琉球銀行の島袋健頭取、20日、県医師会館

承継を考える医師の相談窓口となり、医師が3行から支援を希望する金融機関を選ぶ。買い手先を探す場合は3行で連携し、経営支援もする。県医師会が3月に設置した相談窓口には既に5件の相談が寄せられた。締結式には3行の代表が出席した。県医師会の田名毅会長は「医師が安心して相談できる環境が整うことで、地域医療が安定的に提供できる」と期待した。

琉球銀行の島袋健頭取は「地域の命を守る医療インフラを次世代へつなぐ公共性の高い取り組み」と述べた。沖縄銀行の山城正保頭取は「地域医療と具経済の継続的な発展に尽力したい」、沖縄海邦銀行の新城一史頭取は「事業承継で培ったノウハウを生かしたい」と意気込んだ。

（政経部・山田優介）

【沖縄タイムス】2026年4月21日 医業の承継支援で協定 県医師会と地銀3行 沖縄タイムス社 提供

医療承継支援で協定

地銀3行・県医師会 体制維持へ

県医師会（田名毅会長）と沖縄銀行（山城正保頭取）、沖縄海邦銀行（新城一史頭取）、琉球銀行（島袋健頭取）は20日、「医療承継支援等に関する包括連携協定」を締結した。沖縄の地域医療を支える医療機関の承継問題に4者がタッグを組んで取り組み、県内全域における地域医療体制の維持を目指す。

県内全域で案件相談

県医師会によると、医師の高齢化と後継者不足により、閉院を余儀なくされる医療機関が増加している。那覇市医師会のデータでは、過去10年で20施設が新規開業した一方で、閉院は50施設に上った。

県医師会が3月に会員医療機関が、承継や開業について相談できる常設窓口を設置。今回の協定締結を機に、医師会が事業承継のノウハウがある金融機関につなぐ。

医療機関の承継問題を巡っては、これまでも各行と那覇市医師会、中部地区医師会がそれぞれ連携協定を締結。複数の案件について話が進んでいるという。今回の締結により、離島・本島北部地域での案件や、地域をまたぐ案件でも金融機関の支援を受けやすい仕組みの構築を図る。

事実上「医療機関側が希望する」金融機関が対応することを想定しつつ、後継を探る際にも3行の情報を共有するなどといった金融機関同士の連携も視野に入れる。

20日に南風原町の県医師会館で開かれた調印式には田名会長と3行の頭取が出席し、協定書に署名した。

あいさつで田名会長は「先生方が安心して将来の相談ができる環境が整い、結果として沖縄の地域医療が将来にわたって安定的に提供されることを確信している」と協定を歓迎した。

沖縄の山城頭取は「安定した医療サービス提供や地域医療体制の維持、発展につながる」、海銀の新城頭取は「連携することで幅広くきめ細やかな支援ができると期待している」、琉銀の島袋頭取は「医療インフラを次世代へつなぐ、きわめて公共性の高い取り組みだ」とそれぞれ意義を強調した。（大嶺雅俊）



包括連携協定を締結した（左から）県医師会の田名毅会長、沖縄銀行の山城正保頭取、沖縄海邦銀行の新城一史頭取、琉球銀行の島袋健頭取=20日、南風原町の県医師会館

行と那覇市医師会、中部地区医師会がそれぞれ連携協定を締結。複数の案件について話が進んでいるという。今回の締結により、離島・本島北部地域での案件や、地域をまたぐ案件でも金融機関の支援を受けやすい仕組みの構築を図る。

事実上「医療機関側が希望する」金融機関が対応することを想定しつつ、後継を探る際にも3行の情報を共有するなどといった金融機関同士の連携も視野に入れる。

20日に南風原町の県医師会館で開かれた調印式には田名会長と3行の頭取が出席し、協定書に署名した。

あいさつで田名会長は「先生方が安心して将来の相談ができる環境が整い、結果として沖縄の地域医療が将来にわたって安定的に提供されることを確信している」と協定を歓迎した。

沖縄の山城頭取は「安定した医療サービス提供や地域医療体制の維持、発展につながる」、海銀の新城頭取は「連携することで幅広くきめ細やかな支援ができると期待している」、琉銀の島袋頭取は「医療インフラを次世代へつなぐ、きわめて公共性の高い取り組みだ」とそれぞれ意義を強調した。（大嶺雅俊）

【琉球新報】2026年4月21日 医療承継支援で協定 地銀3行・県医師会 体制維持へ 琉球新報社 提供